

漢字から生れた言葉は漢字で書くほうがわかりよい

六年生の教科書をなに気なく見にいた時、ふと「こう水」という表記が目にとまりました。おやっと一瞬私はとまどいました。「こうすい」と読んだため、意味が通じなかったのですが、「こうずい」と読むべき言葉だったのです。

私はその時考えました。私たちは、「こう水」に当たる「洪水・硬水・香水・鉱水」を、漢字で学習したので「こう水」という表記でも、いく通りもの使い方があること、およびその違いもよく知っていて、文中に「こう水」とあれば、それがどの「こう水」を意味するかは、前後の関係で判断することができるのです。

しかし、漢字で学習しない今の子供たちは、「こう水」などという表記

で、これらの言葉の違いを正しく理解できるのでしょうか。絶対にできないことだとは思いますが、漢字で学習するのに比べたら、困難であることだけは確かです。

「洪水・硬水・香水・鉱水」これらの言葉は、いずれも、漢字によって作られた言葉です。“漢字から生まれた”言葉なのです。だから、親を見れば子がわかるように、漢字を見ればその言葉の意味がすぐ理解できます。

わが国で使われている言葉の中で、重要な内容をもった言葉は、多く漢字で作られた言葉です。だから、これらの言葉を正しく理解するためには、どうしても漢字を理解する必要があるのです。



かな表記では表わす意味が明確に理解できない